

令和5年度第1回高齢者保健福祉審議会議事録

1 開催日時 令和5年7月3日（月）午前10時から午前11時まで

2 開催場所 豊山町役場3階 会議室4

3 出席者

(1) 委員7名

会長 江崎 弘、小坂 啓史、水野 典昌、小塚 奈緒美、岡島 薫、
中村 里美、佐野知穂

※欠席者1名

森 清人

(2) 事務局5名

生活福祉部長 井上 武、保険課介護グループ長 高木 久徳、保険課介護グループ主事 犬飼 大揮、保険課地域包括支援センター包括支援グループ長 千葉幸恵、

Next-i 株式会社 菅沼 剛樹

(3) 傍聴者なし

4 議題

(1) 令和4年度介護保険事業実績報告について【資料1】

(2) 令和4年度豊山町地域包括支援センター事業実績報告について【資料2】

(3) 第10次豊山町高齢者福祉計画・第9次介護保険事業計画の策定に関するアンケート調査結果（概要版）について【資料3】

(4) 今後のスケジュールについて【資料4】

5 議事内容

事務局	令和5年度第1回高齢者保険福祉審議会を開催いたします。本日の進行を務めさせていただきます、生活福祉部長の井上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。 また本日、森委員からの欠席の連絡をいただいておりますので、皆様にご報告させていただきます。それでは、はじめに町長からご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。
町長	【町長挨拶】
事務局	町長は公務がございますのでここで退席とさせていただきます。 それでは、会長よりご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしく

	お願いします。
会長	【会長挨拶】
事務局	<p>それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、資料1になりますけれども、令和4年度介護保険事業の実績報告についてというものがございます。こちらは22ページになっております。続いて、資料2としまして令和4年度豊山町地域包括支援センター事業実績報告についてということで7ページのものであります。資料3としまして、豊山町高齢者福祉計画介護保険事業アンケート調査結果報告書【概要版】というものが16ページであります。最後になります、資料4、今後のスケジュールについてが、資料1枚のものになっております。</p> <p>また、水色のこういった冊子というのは、皆さんお持ちでしょうか。こちらは令和3年3月に策定した計画書になっております。また、本日の審議会の会議録につきましては、発言者の氏名を除いて、公開となっておりますので、ご承知をいただければと思っております。それから、議事録の内容についてですが、委員の方の確認というのが必要になっております。まことに恐縮ですが、議事録に署名する委員ですけれども、こちらの方であらかじめ選定させていただいております。恐れ入りますが、D委員とF委員の2人、及び会長の3人で議事録の署名をしていただきたいと思っております。また後日、事務局で本日の議事録を作成した後に、署名をお伺いさせていただきますので、よろしく願いいたします。それでは、これからの審議の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	はい。では早速ですが、4の議題からお願いいたします。ただいまから議事の進行させていただきますが、次第に従いまして議題1の令和4年度介護保険事業実績報告について事務局からお願いいたします。
事務局	<p>では、資料1と水色の冊子を使用して、説明させていただきますので、資料1と水色の冊子のご準備をお願いいたします。</p> <p>【資料1により説明】</p>
会長	只今のご説明にご質問ありますでしょうか。
委員A	保険料について、1,000円以上上げる必要があるということの根拠をご説明していただきたいです。
事務局	こちらに詳しい資料というのが、今回準備できておりませんので、こちらでまた調べさせていただいて、後程委員の方には回答させていただこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。
委員A	システムの算出額しか出てきていないと審議ができませんので準備をお願いいたします。
委員C	保険料のことでお聞きしたいのですが、3ページについて、豊山町は13番目と言われましたが、どのようないきさつで段階が10となってい

	<p>るのでしょうか。基準額である 5,300 円は 9 年間変わってないですが、今回 6,000 円台になるということ、なぜずっと 10 段階としているかについて、また、その間なぜ保険料が同じだったのか、お聞きしたいです。</p>
事務局	<p>保険料の 10 段階をこれまでずっと変えてきていない点について、今年度の第 9 期の介護の計画を作るタイミングで見直さなければいけません。今年度は段階と、基準額である 5,300 円の見直しを図っていきたいと考えております。</p>
委員 F	<p>保険料の上昇にはここ 2 年間のコロナの影響もあると思いますが、今後もこのような上がり方をするのでしょうか。</p>
事務局	<p>今の結果というのが、コロナの特殊な事情で上がっている可能性が高いので、これをもとに保険料を算出すると、コロナが変わった段階でまた下がるのではないかと思います。慎重に考えて保険料に関しては算定していこうと思っております。</p>
会長	<p>介護保険、人口動態についてですけど、65 歳以上、70 歳以上が増えているが、65 歳前後はそんな増えてないのはなぜでしょうか。</p>
事務局	<p>人口でいきますと、65 から 74 歳である前期高齢者と、75 歳以上である後期高齢者とで推移を見ますと、令和 3 年に関しては、前期高齢者、65 から 74 歳の方は 1,729 名いました。対して R4 年は 1,663 名になっていますので、前期高齢者の数が 60 人ぐらい減っています。さらに、令和 5 年になりますと、1,546 人になっておりますので、そこから約 100 人、前期高齢者は減っています。</p> <p>逆に後期高齢者の方は、75 歳以上の方を見ますと、令和 3 年が 1,804 人、で、令和 4 年が 1,838 人なので、34 人ほど増えております。令和 5 年に関しますと、1,939 人になっており、101 名増えておりますので、傾向としては、前期高齢者の人が年齢をとって、後期高齢の方に移動したと読みとれるような推移になっているという結果です。</p>
会長	<p>そうすると、前期高齢者になる人たちが少ない、少ないということですか。</p>
事務局	<p>今後は減ってくる形になります。</p>
会長	<p>60 代後半辺りが少ないということですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員 C	<p>総人口の見直しは行うと思いますが、R7 年が 1 万 6 千人とありますがここまですみますか。企業も撤退しているので、町長が言うように人口が減っているなら、これも見直した方がいいかと思います。</p>
事務局	<p>こちらに関しましては、3 年前に作った総合計画の推計値を当てはめていますが、こちらについては本年度総合計画の人口推計に更新するという予定がありますので、このとおりではないという形をご承知いただければと思います。</p>

委員A	生産年齢人口のパーセンテージも変わりますか。
事務局	変わっていきます。
会長	次回にその傾向は分かりますか。
事務局	9月頃に総合計画の人口推計、更新後の推計が出ると聞いています。次回の審議会を9月に予定しておりますので、出せるか出せないかというぐらいになっているかと思います。
委員D	<p>先ほどのコロナの関係というお話が出ましたが、やはりこの2年間で高齢者の活動がものすごく減ったと思います。実家の母が86、7歳ですが、やはりとても衰えました。出かける回数が減りましたし、集まる場所も減りました。なので、先ほどの要介護1、2が減って、要介護3、4が増えたことによって、保険料・実質の費用がとても上がったのではないかと考えています。一度介護度が上がってしまうと戻すのは難しく、どんどん衰えていくと自分の親を見ていても思いますので、戻すのが無理なら食い止めることにも着目していかないといけません。</p> <p>あと一つは、この介護保険について特養というお話が出ています。北の方に有料老人ホームを作っていますが、あの辺りの方が入居することにより、豊山町の介護保険料に影響というのがあると思われませんか。</p>
事務局	入居者がその分介護保険のサービスを利用しますので、利用料に関しまして、影響は出てくると思います。
委員D	<p>あちこちで今特別養護老人ホームについて話し合われていて、社会福祉協議会の会議に出たときも、特別養護老人ホームがいつ来るか、どこに来るかという声がすごく出ていました。そういうことに関しても、この介護保険料の費用が上がることに関して、私は賛成も反対も言えなくて辛いです。こういう仕組みが分かっているから行き先がないのも分かりますが、若い人に負担が増えていくのも辛いと思っています。</p> <p>特別養護老人ホームが1つ増えたことにより介護保険料に影響がありました、という資料はありませんか。調べれば何人使っているくらいは分かりますか。</p>
事務局	それは分かります。
委員D	特別養護老人ホームへ入る方は利用介護3以上で、グループホームだと要介護1くらいから入れる、また有料老人ホームは別だと思いますが、特別養護老人ホームを作ると介護度が重い方が集まられると思うので、豊山町を住民みんなで支えなきゃいけないということをどこまで理解してらっしゃるかということが疑問に思っております。
会長	つまり特別養護老人ホームができれば、逆に介護を受ける人が増えるということでしょうか。
委員D	<p>全員ではないと思いますが。</p> <p>この前、敬老会の手伝いをしているときに、有料老人ホームの事務の</p>

	方が両手に記念品持って帰られていましたが、それほど住民票があるということだと思います。あの人たちも豊山町の介護保険使っていると思うと、複雑な気分で見送りました。今作っている有料ももうできますし、また特養が増えるとなると、介護保険料が上がることを、住民も知らないといけないと思います。
会長	ほかに質問はありませんか。 それでは次の議題（２）の２、令和４年度豊山町地域包括支援センター事業実績報告についてお願いいたします。
事務局	【資料２により説明】
会長	説明が終わりましたがけれども、包括支援センターにつきまして、何かご質問ございますか。
委員C	６ページのおかえりネットとは何でしょうか。
事務局	おかえりネットというのは通称名です。認知症の方で帰り道が分からなくなってしまうたり、徘徊等をしてしまう恐れがある方を、事前に登録していただくという制度です。登録していただいた方が、もし道に迷われて家に帰って来られないといったことがあった場合、情報が共有しやすいということで、事前に登録をお願いしております。 帰れないという方が発生した場合、まず警察に最初届け入れが必要ですが、こちらにご連絡いただいた後に、こちらの方からメールの配信をさせていただきます。サポーター数というのが登録していただいている方ですが、背恰好や今日どういった服を着ていたかなど、そういった情報をメール配信させていただいて、少しでも早く発見していただけるようにネットワークを構築しているという内容であります。
委員D	これは民生委員が入っているかはわかりますか。入れるべきだと思います。
事務局	個人ではわかりません。こちらでは人数しかわかりません。
委員D	民生委員は半強制的にでも知りたいくらいです。自分の町内の方が徘徊していても民生委員が知らないというのは恥ずかしく感じます。
事務局	地区名までは出しませんし、お名前も出さず、誰かという特定はできません。年齢や背恰好、女性、男性かなど、そういう情報しかメールでは持てないですし、警察から来た場合はそういう情報しか分かりません。
委員C	去年は何回かあったのですか。
事務局	そういったメール配信するケースがないのはよいことか判断が難しいですが、去年はなかったです。
委員C	上のGPSの貸し出しとはリンクしてないのでしょうか。
事務局	GPSと事前登録はリンクしていません。その理由としましては、GPSの方は、機器を持って出ていかない限り発見できず、やはり持っていき

	<p>るか等その辺が難しいというところで、なかなか利用者が増えていない状況であります。登録は無料で、お名前や連絡先をこちらに情報提供していただくだけで、GPS を紛失した場合もありえるので、すぐ利用しますというのはなかなかご家族としてはされていない現状です。</p>
委員C	<p>サポーターが 264 人は結構人数が多いので、民生委員も含めてもう少し増やせればと思います。</p>
委員D	<p>民生委員の会議の時に資料を持ってきてください。</p>
事務局	<p>最初の導入で、こういうネットワーク構築します、おかえりネットをしますというご案内はしたと思いますが、委員も変わっていきたく思いますので、またご紹介をしたいと思います。</p>
会長	<p>サポーター数に対しては、例えば老人クラブでも、登録したらどうか推奨ができるわけですが、逆に私が思うのは、登録者が 13 人であることです。ここを増やせばよくて、これを周知徹底したほうが良い、こういうことがあることを知らない人も結構多いでしょうから。だからいつ何時にどうなるかわからないので、そういう時にはサポーターのお世話になることはいかがですかと紹介できれば良い。転ばぬ先の杖ですが、認知症前提にお願いしますということはないかもしれませんが、264 人サポーターがいても、それをお願いしたいという人が 10 人しかいないはどうでしょうか。</p> <p>なんとかその 264 を増やすことよりも、10 人を増やすこと、といっても増やすことは本人次第ですから。</p>
事務局	<p>ご家族が大体、申請されます。</p>
会長	<p>ご本人が申請されることはまずないでしょう。</p>
委員D	<p>今豊山ボランティアの代表も見えますので、社会福祉協議会のボランティア団体の方にもこういう登録ありますとご紹介いただければよいと思います。ご登録される方は個人の自由でしょうけど、知らない方もみえますし、点字やってます、読み聞かせやってますという方にも、ボランティアという名が付く方には、ご協力してもらって推していただければと思います。</p>
事務局	<p>社会福祉協議会さんにもご相談させてもらってご紹介をさせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>去年だったと思いますが、地域包括センターで、こういう時に助けたいと思いませんか、というアンケートを取ったことがあると思います。このことだけに限らず、買い物難民ですか、あるいはちょっとしたことを助けたいと思っておられます、あるいは今健康ですか、そういうことを、いくつかの項目に分けて大勢にアンケートを取られたことがあると思います。</p>
事務局	<p>75 歳以上に送られるフレイルチェックのアンケートか、項目が多いと</p>

	いうことであれば、名大のものでしょうか。
会長	高齢者対象に、助けがいただきたいと思いませんかや、そういうところに登録しませんか、という設問があったと思います。それを聞いたことがあるとして、それはご本人がされているかどうかという、この10人には、活かされていないかと思えます。
事務局	ご本人さんよりもご家族に、そちらの登録をご案内させていただくのが一番いいと思います。介護保険、認知症で徘徊される状態だと、何かしらサービスを介護保険で使われていると思うので、ケアマネジャーさんなどそういった方にもご案内させていただいていますが、もう少し周知させていただいて、個別に紹介していただいた方が、やっぱりいいと思います。
委員D	シルバーの会長さんがいらっしゃいますが、今度シルバーでスマホ講座というのをやりますので、そこにこういうご登録について、会長さんにチラシをお持ちいただくと良いと思います。
事務局	ぜひお願いします。
会長	そのほかよろしいでしょうか。
委員A	<p>前年度の会議が開かれなかった時に書面で質問をさせていただきましたが、ヤングケアラーの問題について、どこかでニーズがあれば、何とかしないといけないという全国的な問題にもなっているので、教えてほしいです。前回のご回答では、他の部署や団体と連携してという掘り起こしの段階からという気がします。</p> <p>今、スマホのお話もありましたが、若い子たちはスマホをよく見るので、そこに情報を流すことやすぐできる相談できる窓口みたいものを作れないでしょうか。ただどうやって情報を流すのか、いろいろ工夫したり考えたりしないといけないので、その部分もこの会で進展があれば教えていただきたいのと、もしこれからだということであれば、どういう形でというようなお考えがもしあれば、聞かせていただければと思います。</p>
委員D	役場が子ども応援課というところできておまして、そこに社会福祉士がいて、ヤングケアラーについて各学校にお声掛けされているというのは民生の会議で伺ったことがあります。具体的なメールやLINEについてはまだないと思います。スクールカウンセラーの方と社会福祉士の方、役場の方が一緒に活動されているというのは、民生委員として情報は得ております。
会長	あともう一つ、先生が質問されたように、例えば、先ほどの10人という方と同様に啓発のアンケートということもいいですが、メールで応募したり質問をしたり、今はデジタルの時代だから、何か多様性の問題かもしれないかもしれませんが、進んでいただければと思います。高齢者に限りま

	せんが、そういうことがあることを知らない方が多いのではないかと思います。
事務局	<p>ヤングケアラーに関しては、今委員がおっしゃられた通り、子ども応援課で対応や、そういった普及啓発等から始めていくと伺っています。確かに、若い方はデジタル機器に近いというのもあるので、もしかしたら相談とかもそういったもののほうがしやすいという年代なのかもしれないので、その点のご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>ヤングケアラーといっても、ご本人、実際にケアラーとしてやっている方が、家庭環境などについて本人はそれしか知らないで、そこになかなか気づきにくいということがヤングケアラーについて言われています。その辺のご本人自身がヤングケアラーだと気づけるような周知等、そういうことからかと思えます。また進捗ありましたらお伝えします。</p>
会長	<p>その他ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、令和4年度豊山町地域包括支援センターについての報告を終わります。次に議題3、第10次豊山町高齢者福祉計画・第9次介護保険事業計画の策定に関するアンケート調査結果（概要版）について事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日は、計画策定の委託をさせていただいておりますNext-i株式会社の方がご同席いただいておりますので、Next-iさんの方から資料3につきましてご説明させていただこうと思えます。</p> <p>【資料3により説明】</p>
会長	説明終わりましたけれど、これで質問や思うところがございましたらどうぞ。
委員C	11ページの介護保険サービスを利用しない理由というのがあって、その他15パーセントぐらいありますが、これは全くもう何もかも含めてその他となっていますか。
事務局	その他に関しては、そのまま何も書かれずにその他を選ぶ形になっています。
委員C	<p>その他をすべて選択する形でしょうか。</p> <p>家族が介護するので必要ないなどが結構高いですが、その他については問題かと思いました。</p>
委員C	ありがたいことに、配偶者の方が見えて基本的にあまり利用しなくてもいいところをアンケートで見ると、それが一番いいと思います。
会長	回答率も結構高いこともありますし。
委員C	しかし今後は、介護保険をやっぱりもう少し使うような傾向でいかなければ難しいかもしれないです。
委員D	男性はね、奥さんに見てもらえればいいと思っていますから。
委員C	逆であつたら大変です。

委員D	昨日主人と話していたのですが、うちも二人暮らしで娘が離れたところにいるので、老後どうするかについて、私は片方になったら娘のところに引っ越すべきじゃないかと言いました。でも主人はずっとここにいると言うのです。一人暮らしは大変だとその前に言っとかないといけません。
会長	大変だということを知らないからそのままいいと思うのです。
委員D	色んな事を知らないなので、子供が来てくれると思っているみたいに、喋っていて思いました。
会長	そのほかご意見ありませんか。
委員C	今、豊山はまだ身内の方が見ることができますが、一人暮らしだったらやっぱり行政も含めて見る必要が出てきます。
委員A	ただ、一人暮らしの高齢者の方は、健康状態が3分の1は良くないと感じています。 一方で、この介護保険はそもそも、作った時点では社会的介護という銘を打っていて、少なくとも今は家族介護がちょっとできたりするようになっていますが、本当は違います。なので、そういったところも、やっぱり情報を提供していかないといけません。家族介護前提というのは、そもそも違う。いつの間にそうなったのでしょうか。
委員A	そこから考えると、これについてニーズが埋もれている可能性もあると思います。その辺をアンケート調査でどこまで炙り出せるかというのは、アンケート調査は限界があるので、聞き取りをどのくらいできるとするとしても、今度はそちらにまたお金がかかったりするので、悪循環になる可能性もある。それも悩ましい問題ではありますが、諦めてはいけません。
会長	その他よろしいですか。それでは、この項目を終わりますが、その他ありますか。
事務局	【資料4により説明】
会長	皆さんの方からはよろしいですか。長い時間、お世話になりました、ありがとうございます。
事務局	会長どうもありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議をいただきましてありがとうございました。

6 その他

上記のとおり、令和5年度第1回豊山町高齢者保健福祉審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者2人が署名する。

令和5年10月2日

会 長 江崎 弘

署名人 小塚 奈緒美

署名人 岡島 薫